

地域の暮らし、文化を潤す動物園の姿

～札幌市円山動物園の新たな取り組み～

令和2年11月5日(木), 6日(金)

参加定員 25名

1日目 シンポジウム・エクスカーション (集合場所 北海道立文学館講堂)

13:00～	受付
13:20～13:30	開会式
13:30～15:00	基調講演「動物福祉を根幹とした動物園情勢の制定を目指す円山動物園」 講師 加藤 修 氏 (札幌市円山動物園園長)
15:00～15:30	エクスカーション 北海道立文学館 館内見学
15:30～16:50	シンポジウム (パネリスト) ・札幌市円山動物園園長 加藤 修 氏 ・北海道大学文学研究科教授 佐々木 亨 氏 ・大阪市立天王寺動物園園長 牧 慎一郎 氏 (コーディネーター) ・道央地区博物館等連絡協議会会長 中島 宏一
17:00	退館

2日目 実地研修 (集合場所 札幌市円山動物園次世代エネルギーパーク動物科学館)

9:00～	受付
9:30～10:30	Zooトーク「ゾウの飼育復活とゾウ舎完成に至るストーリー」
10:30～11:55	園内見学
12:00	閉会

主催 北海道博物館協会

共催 日本ミュージアムマネジメント学会

協力 札幌市円山動物園、公益財団法人北海道立文学館、日本動物園水族館協会

担当 道央地区博物館等連絡協議会



研

修

概

要

昨今の動物園や水族館では、動物がその種ごとの本来の生態に沿って、心身ともに健康で快適に過ごせるようにするため、良好な「動物福祉」を確保することが求められています。

「動物福祉」とは、動物の身体的及び心理的な状態のことであり、その状態は科学的知見を以って客観的に判断するもので、いわゆる動物愛護といった、人間が動物に対して抱く「かわいい」「楽しそう」「かわいそう」といった主観的、情緒的視点からの評価とは一線を画すものです。

札幌市円山動物園では、2018年3月にオープンし

たホッキョクグマ館や2019年3月にオープンしたゾウ舎をはじめ、すべての施設でそれぞれの状況に応じた、動物福祉の向上に向けた取り組みを進めているとともに、「動物福祉」の向上を根幹に、生物多様性の保全や教育、調査・研究に積極的に取り組むといった内容を盛り込んだ、国内初の動物園条例の制定に取り組んでいます。

そこで、本研究会では、開園100年を迎える2050年を見据え、長期方針「ビジョン2050」を策定した円山動物園の運営戦略から、ミュージアムマネジメントの視野拡大と研究を深める機会とします。

11月5日会場

北海道立文学館

〒064-0931

札幌市中央区中島公園 1-4

※研修会用の駐車場はございません。公共の交通機関をご利用ください。



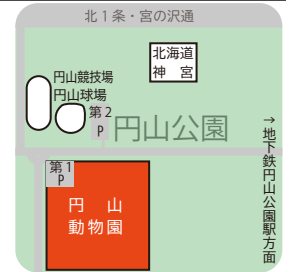
11月6日会場

札幌市円山動物園

〒064-0959

札幌市中央区宮ヶ丘 3-1

※お車でお越しの際は第2駐車場をご利用ください。



新型コロナウイルス感染予防について

感染予防として参加定員を25名の定員とし、開催時の換気と合わせてソーシャルディスタンスの確保に努めます。また、参加が難しい希望者には、基調講演・シンポジウムの模様を収録した映像を提供することで研修効果の普及を図ります。その他、マスクの着用・手指消毒など会場施設の対策にご協力願います。

なお、リスク回避の観点から情報交換会の開催を見合わせることにいたしました。

お問い合わせ先

道央地区博物館等連絡協議会事務局
(一般財団法人北海道歴史文化財団内)

TEL 011-898-2692

FAX 011-898-2694

Eメール issmusenet@gmail.com

参加のお申し込みは、下記内容を FAX もしくは E メールにて事務局にお知らせください。

所属館園名

職名	氏名	参加希望日（枠内に○を付けてください）	
		5日（木曜日）	6日（金曜日）



このQRコードからも申込できます

電話番号

Eメールアドレス

参加できないが、基調講演・シンポジウムの録画映像が欲しいという方は参加希望日欄にDVDと記入し送信ください。